

# THE 11TH WORLD KENDO CHAMPIONSHIPS SANTA CLARA, USA 2000

## International Kendo Federation

### Kudan Office

2F Yasukuni Kudan-minami Bldg.  
2-3-14 Kudan-Minami Chiyoda-ku  
Tokyo, Japan 〒102-0074  
Tel. 03-3234-6271  
Fax. 03-3234-6007  
e-mail: international@kendo.or.jp



### All United States

### Kendo Federation (AUSKF)

P.O. Box 2004  
Lomita, CALIFORNIA 90717, USA  
TEL:(310)326-2982  
FAX:(213)740-5737  
e-mail:yuge@usc.edu

## 第 1 1 回世界剣道選手権大会要項

1999年2月19日

1. 主 催 : 国際剣道連盟  
主 管 : 全米剣道連盟  
後 援 : (財)全日本剣道連盟
2. 開 催 地 : アメリカ、カリフォルニア州、サンタクララ市
3. 行 事 日 程 : 2000年3月21日(火) ~ 3月27日(月)

I. 大会期日 : 2000年3月24日(金) ~ 3月26日(日)

II. 行 事 :

	(午 前)	(午 後)	(夜)
第1日目 3月21日(火)		審判員現地到着(受付) (早期到着選手団自主練習)	
第2日目 3月22日(水)	審判会議 / 審判講習会 IKF/EKF 関係者現地到着(受付) EKF 会議 (早期到着選手団自主練習)		
第3日目 3月23日(木)	審判会議/審判講習会、監督会議(組合せ抽選会) IKF 理事会・総会 各国選手団最終到着(受付)、自主練習		IKF 会長招宴
第4日目 3月24日(金)	開会式、女子個人選手権 女子準公式団体戦、表彰式 演武、特別試合 親善稽古		
第5日目 3月25日(土)	開会宣言、男子個人選手権 演武、特別試合 表彰式 親善稽古		
第6日目 3月26日(日)	開会宣言、男子団体選手権 演武、特別試合 表彰式、閉会式		サクラバ・デー
第7日目 3月27日(月)	剣道講習会 / 剣道段位審査会		

☆ 親善稽古は行事終了後実施する。

#### 4. 試合規則

試合は全て国際剣道連盟試合並びに審判規則（1997. 3. 26. 改訂）により行う。（その後の改定がある場合は、それも含む。）但し女子試合（個人選手権及び団体準公式戦）の試合時間は3分とする。

#### 5. 参加資格、人数およびエントリー

- (1) 本大会試合に参加する監督及び選手は、次の資格を有しなければならない。
  - a. I K Fに加盟あるいはそれに準じる団体の会員であること。
  - b. 代表する国の国籍を有すること。（確認のために、選手はパスポートの提示を求められる。）またはI K F会長が承認した者。
- (2) 各団体は、前項の資格を有する男女それぞれ10名以内の登録選手を、項目10に後述する予備エントリーを経て、指定期日までにI K F本部にエントリーしなくてはならない。
- (3) 各チームの監督は、次項以下に示す男女各試合方法・条件に基づき、男子・女子個人選手権出場選手についてはそれぞれ5名以内を、男子団体選手権選手については5名以上7名以内を、女子団体準公式戦については3名以上7名以内を登録選手から指名し、それぞれの名簿を2000年3月23日の監督会議において提出しなくてはならない。
- (4) 男女個人団体各試合の組合せ抽選は、監督会議において行う。但し団体戦は第10回大会の成績に基づくシード制を採用する。
- (5) 選手は個人戦、団体戦の両方に出場することができる。但し男子は女子部門の、女子は男子部門の試合に出場することはできない。
- (6) 審判員は試合に出場できない。

#### 6. 個人選手権試合の方法（男女共通）

- (1) 出場選手は、各団体より登録された選手の内から予め指名された選手5名以内とする。
- (2) 試合の方法
  - a. 予選では、3名で構成されるいくつかのグループを設け、グループ内で総当たり戦を行う。各グループの1位が決勝トーナメントに進出する。（図略）
  - b. 試合は、男子は時間5分による3本勝負、女子は3分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らず行う。
  - c. 各グループの選手の組合せは抽選による。但し同じ団体の選手は異なるグループに振り分ける。また、グループ構成の際端数のある場合は2名をもって1つのグループとする。
  - d. グループ内の順位決定
    - 1) 勝ち数の最も多い者が決勝トーナメントに進出する。
    - 2) 勝ち数の同じ場合、取得本数の多い者を上位とする。
    - 3) 勝ち数も本数も同じ場合、該当者間の試合によって進出者を決定する。試合方法は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行う。
- (3) 表彰  
1位、2位、3位（2名）及び敢闘選手7名以内を表彰する。敢闘選手はI K F会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

#### 7. 団体試合（男子選手権、女子準公式戦）

- (1) 団体試合は一部制とし、各団体から1チームが参加できる。
- (2) 男子は1チーム5名以上7名以内の登録選手で、女子は1チーム3名以上7名以内の登録選手で構成され、5人制により試合の勝敗を決する。但し、男子団体で登録選手が5名に満たない場合、女子団体で3名に満たない場合は出場することができない。



- (3) チームの試合毎の出場選手は登録選手の中から選ばれる。その編成は試合の都度変更できる。但し、女子団体において登録選手が4名の場合は先鋒、中堅、副将、大将の位置に、3名の場合は先鋒、中堅、大将の位置に選手を置くものとする。
- (4) チーム出場選手のオーダー表は直前の試合の開始前に審判主任に届けなければならない。届出のない場合は前回試合のオーダー表に変更のないものとみなす。(但し第一回目の試合のオーダー表は、監督会議で大会本部へ提出する。)

(5) 試合の方法

a. 予選

- 1) 8組の予選グループ(A~H)を設ける。

- ① 参加チームが24以下の場合、各グループは2~3チームで構成される。
- ② 参加チームが25~32の場合、各グループは3~4チームで構成される。
- ③ 参加チームが32を超える場合は、各グループは4~5チームで構成される。

2) 予選試合方法

- ① グループを構成するチーム数が3以下の場合は、グループ内において通常の総当り戦を実施し、グループ内順位を決定する。
- ② グループを構成するチーム数が4以上の場合は、グループ内で次のような方式で試合を実施し、グループ内順位を決定する。(各チームは予選において2試合をおこなう。)  
(a~eをグループ内チーム名とした場合)

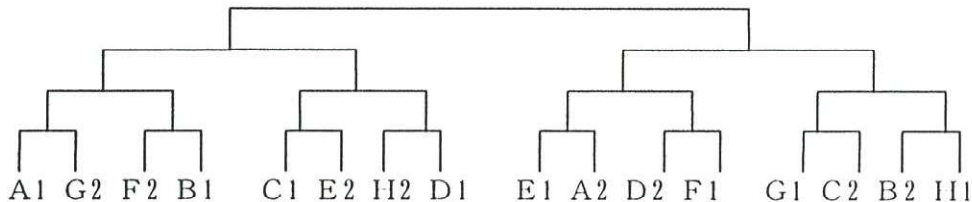
<4チームの場合>

a vs b  
c vs b  
c vs d  
a vs d

<5チームの場合>

a vs b  
c vs b  
c vs d  
e vs d  
e vs a

- 3) 各予選グループへのチームの配置、グループ内での対戦組み合わせは、抽選による。但し男子は第10回大会のI部、II部の各1位から3位までの8チームをシードとし、それぞれ別のグループに振り分ける。シードチームの振り分けは下図の通りとする。
- 4) 予選におけるチームの勝敗は、以下のようにして決定される。
- ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
  - ② 勝者数が同じ場合は取得本数の多い方を勝ちとする。
  - ③ 勝者数も取得本数も同じ場合は引き分けとし、代表者戦は行わない。
- 5) 各予選グループ内の対戦による成績で上位の2チームが決勝トーナメントへ進出する。



A	B	C	D	E	F	G	H
a. I部1位	a. II部3位	a. II部2位	a. I部3位	a. I部3位	a. II部1位	a. II部3位	a. I部2位
b	b	b	b	b	b	b	b
c	c	c	c	c	c	c	c
d	d	d	d	d	d	d	d
(e)	(e)	(e)	(e)	(e)	(e)	(e)	(e)

- 6) グループ内の順位決定方法は次の通りとする。
- ① チームとして勝ち数の多い方を上位とする。(引き分けは0.5勝とする)
  - ② チームとしての勝ち数が同じ場合、勝者数の多い方を上位とする。
  - ③ チームとしての勝ち数、勝者数も同じ場合、取得本数の多い方を上位とする。
  - ④ チームとしての勝ち数、勝者数、取得本数も同じ場合、
    - ・グループ内1位・2位の決定は行わないが、決勝トーナメントのポジション決めは抽選で行う。
    - ・グループ内2位・3位の決定については代表者戦によるものとする。
  - ⑤ グループ内全てのチームの成績が全く同じ場合は、各チーム代表による総当りの代表者戦で順位を決定する。

b. 決勝トーナメント

- 1) 決勝トーナメント1回戦では、各予選グループの1位チームは原則として他のグループの2位チームと対戦する。(図参照)
- 2) 決勝トーナメントにおけるチームの勝敗は、以下のようにして決定される。
  - ① 勝者数の多い方を勝ちとする。
  - ② 勝者数が同じ場合、取得本数の多い方を勝ちとする。
  - ③ 勝者数も取得本数も同じ場合は、代表者戦により勝敗を決定する。

- c. 個々の試合は、男子は時間5分による3本勝負、女子は3分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

選手不足による棄権不戦の試合では棄権側を負けとし、相手方に2本を与える。

但し双方棄権の試合においてはどちらにも勝敗・本数を付与しない。

代表者戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行う。

(6) 表彰

男女それぞれにおいて、1位、2位、3位(2チーム)及び敢闘選手7名以内を表彰する。敢闘選手はIKF会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

8. 役員および審判員の選任

- (1) 役員の任命は、これ迄の大会に準じて、IKF本部が行う。
- (2) 審判団は、審判長1名、審判主任4名、審判員24名、計29名で構成する予定である。
- (3) 審判員の選任

a. 選考

IKF加盟国団体会長から、次に定められた条件を満たす者を、「WKC審判員候補者登録推薦書」用紙を使用して、IKF会長宛に4名以内を推薦し、それにIKF会長推薦を若干名加え、IKF本部において、IKF会長が委嘱した選考委員会により、候補者の中で特に優れている者を選考する。

特に下記①～④までの条件を全て満たすことが必要である。

- ① IKF加盟団体の会員であり、原則として当該国の国籍を有する者。
- ② 年齢35歳以上、70歳以下(2000年1月1日時点)の者。
- ③ 剣道5段以上を有し、健康体であり、常時稽古に参加している者。
- ④ IKF剣道試合・審判規則を熟知し、国際大会や国内選手権大会及び同程度の大会の審判経験が豊富で、審判能力の高い者。

- b. 日本人審判員については、IKF会長指名により必要数を選任する。

c. 審判員の委嘱

IKF会長から、選考された者の通知を得た所属団体会長は、委嘱を受けた本人の諾否の確認結果を直ちにIKF本部に報告するものとする。

- d. 審判長及び審判主任はIKF会長指名とする。

## 9. 費用の負担区分

- (1) 全ての参加者は、それぞれの国と米国サンタクララ市間の往復旅費、滞在中の宿泊費および食費を自己負担とする。特に大会期間中の宿泊費、食費の負担額、支払方法等詳細については、主管の米国剣道連盟から別途指示する。
- (2) 審判員に対しては、審判講習期間(3/21 夕～3/23 昼)の宿泊及び食費はIKF負担とし、その他の大会期間中の宿泊及び食費は原則として自己負担または派遣連盟負担とする。

## 10. 予備エントリーおよび最終エントリーの期限

- (1) 予備エントリー：1999年4月30日 (参加、不参加、選手団の概数の見通し)
- (2) 最終エントリー：1999年10月31日 (団長、監督、コーチ、選手の氏名および顔写真)

## 11. その他

- (1) 危険防止のために、竹刀の先端の直径は先革を含み26mm以上(女子の場合は25mm以上)とする。
- (2) 試合の直前に行われる選手の呼び出しがあつてから5分以内に現れない選手は失格とし、その試合に出場できず、不戦負けとなる。
- (3) 担当審判員の合議により、薬物(アルコール類を含む)の影響下にあることが明瞭と認められた選手は失格とされ、その試合に出場できず、不戦負けとなる。
- (4) 登録選手は自国において旅行期間中の障害保険に加入することとする。

(以上)